

裏磐梯の自然や鳥

2年 3組 Y.S

僕は、林間学校で福島県の裏磐梯に行って自然体験学習でいろいろな事を学んできました。自然体験学習は1年生のころからずっと自分のテーマにそって調べてきました。5月に予定されていた林間学校が9月に延期になってしまい、調べることも影響したと思います。でも、大地震があったからその他のいろいろな事も学ぶことができました。

環境問題・自然を守る

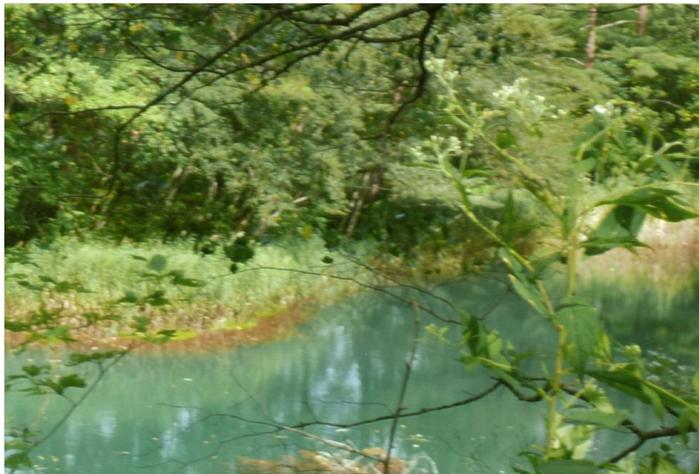
自然体験学習1日目は、「環境問題、自然を守る」というテーマのコースに行きました。僕は、今まで鳥の事について調べてきましたが、環境問題の事にも少し興味があったのでこのコースに行きました。このコースのネイチャーガイドの先生は桑原先生でした。コースにはまず、沼がありました。その沼は毘沙門沼でした。毘沙門沼の脇をって、毘沙門沼の終わりの所をみました。

毘沙門沼は、凄く長く続いていて沼の面積は約150㎡で大きい沼でした。



次はガイドブックに載っている植物について、桑原先生が教えてくれました。桑原先生が特に詳しく説明してくれたのは、山ウルシでした。山ウルシは、茎が赤くてわかりやすいけど、毒成分がすごく強いかぶれるので覚えておいてと言っていました。そのおかげで、コースを歩いているときにも自分で見つけることができました。

その後、赤沼を見ました。赤沼は、全体的に緑色でまわりが少し茶色の沼でした。



次に深泥沼、竜沼に行きました。深泥沼の西側は青緑色に濁っていて、東側は、澄んでいてオヒルムシロが茂っている。

次に、弁天沼瑠璃沼を見ました。弁天沼は、西側の湖底にはミカマゴケット、東側では、フトヒルムシロの群落がある。1つの沼で、水質も生物相も違っている沼だった。面積は、約30㎡で五色沼の中では大きい方だった。



瑠璃沼は青く澄んだ美しい沼で、ウカミカマゴケというコケが湖底を埋め尽くしている。面積は18㎡で普通サイズ。



そして、青沼に行きました。水は極めて透明で、多量のカルシウムと硫酸イオンを含んでいる。湖底はウカミカマゴケのマットで覆われている。面積は約6㎡で小さめ。



最後に、遠藤現夢の墓に行きました。遠藤現夢は五色沼の自然を作ったといっても過言ではない人です。

コースを歩き終わって、桑原先生が自然に良い事はどっちなのか考えてと言っていました。1つは、人が全く山に入らずに手入れをしないでそのままにすること。もう一つは、人が最低限山に入って、手入れなどをした方がいいのかということでした。僕は、人が最低限山に入って、手入れをする方がいいと思います。理由は、人が手入れをしないと、沼などいろいろな生物や自然を、このままの形で守れなくなってしまうからです。でも、自然はどんどん変わっていくものなので、手入れをしなくてもいい所などもあると思います。これをふまえて、人は今の自然を保ちつつ、変わっていく自然を手入れしていくことが大切だと思います。

自然体験学習1日目は、半日で多くの自然や生物に出会うことができました。そして、環境問題についてもしっかりと学んでおくことができました。

発見！裏磐梯の鳥

自然体験学習2日目は、全日コースで僕がずっと調べてきた鳥を見に行くバードウォッチングのコースを歩きました。

このコースのネイチャーガイドの先生は草野先生で鳥のことについてよく知っている鳥のエキスパートなので、いろいろなことを教えてもらいました。

まず、ホテルを出てすぐにカラスを見ました。カラスには2種類あり、おもに中にいるハシボソカラスと、郊外にいるハシブトカラスがいる。特徴は、ハシボソカラスがくちバシが細い。ハシブトカラスはくちバシが太い、などのことを望遠鏡で見ながら詳しく説明してくれたので、自分でも見分けられるようになりました。

次に、1つの木に違う木が生えているやどり木という木を見ました。繁殖する時期にできる物で他の植物の種などが鳥によって運ばれたことによってできたものです。



その後、木がいっぱいあるところで無数に穴があいている木を見つけました。それは、キツツキがつついて開いた穴でした。僕もたぶんキツツキだと思っていたので、当たってよかったです。

次に、歩いていると葉っぱの上にドロドロとした卵を見つけました。それは、水生昆虫カワゲラの卵でした。ドロドロとしているジェルみたいなものの中にゴマみたいな粒々が入っている感じのものでした。

しばらく歩いて今度は、サルナシというキウイの原種を見つけました。みんなで拾って食べてみました。ぼくも食べてみましたがキウイよりも小さかったけど、すごく甘かったです。僕たちが普段食べている物は自然にあったものだったんだということがわかってよかったです。

その後、展望台に行きました。展望台はすごく景色がよくいろいろな鳥を見ることができました。でも、飛んでいるところだったので写真に残すことはできませんでしたが鳴き声なども聞いたのでよかったです。

コースを歩いてきて、いろいろな鳥の姿や鳴き声を見たり聞いたりすることができました。でも、自分ではあまり見分けることができませんでした。草野先生はすぐに見分けていたのすごいと思いました。

コースを歩き終わり歩いてきたところで見たり聞いたりした鳥について草野先生が教えてくれました。それは、ハクセキレイ、ホオジロ、キセキレイ、ノスリ、カワウ、アカゲラ、メジロ、オオバン、カイツブリ、アオジなどでした。その他にも聞けなかった鳥の鳴き声を聞かせてくれました。他にも、草野先生ははずめが減っていると言っていました。それは、家のつくりが変わったので屋根裏に住めなくなってしまったからだと言っていました。僕は鳥のことも考えた家を考えてほしいなと思いました。そうしなければはずめはどんどん減ってしまうからです。

その後、草野先生に質問する時間になりました。そこで磯岡君が日本国内で渡りをする鳥は何というのか？という質問をしていました。僕もそのことについて気になっていました。日本国内で渡りをする鳥は漂鳥というそうです。

次に、野鳥は繁殖する時期と通常での食べるものが変わるということを教えてくれました。繁殖期には栄養をいっぱい取れるので昆虫、通常では木の実などを食べるそうです。

午後になって雨の時にやる予定だった物をやりました。それは鳥の形をした木に色を塗って鳥を描くというものでした。みんなそれぞれ違う絵を見て描いたので、いろいろな作品ができました。完成して、みんなで見せ合った時にうまくできていて褒められたのでよかったです。最後に草野先生が自分で描いた鳥の名前は絶対に忘れないで、出来れば来年の夏に来てほしいと言っていました。こうして自然体験学習の2日目が終わりました。

まとめ

僕はずっと鳥の事について調べてきました。この自然体験学習でいろいろなことを学び、福島の方々にもやさしくしてもらいすごく良いものになったと思います。この自然体験学習で学んだことをいろいろな所で生かしていきたいです。